

奄美の観光振興に期待

名瀬港長浜地区岸壁が供用

名瀬港(長浜地区)岸壁(○10m)がこのほど完成、九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所と県大島支庁主催による供用式典が22日、名瀬市の現地で開かれ、関係者約50人が出席してテープカットやくす玉開披、記念碑除幕などで盛大に供用を祝った。

式典では鹿児島港湾・空港整備事務所の関憲一所長が「名瀬港は古くから本土と離島を結ぶ交通の要衝、経済、文化の重要な拠点。近年の港に対する要望の変化と観光客増加に伴い、11年の歳月をかけた今年2月に完成に至った。柔らかな地盤等の悪条件の中、無事完成にこぎ着けることができたのはひとえに関係者各位のご尽力の賜物。今後は物流拠点として効率かつ使いよい港づくりにさらに努力していきたい」と式辞を述べた。九州地方整備局の岩瀬清治副局長と須賀龍一郎知事(代読)の挨拶、平田隆義名瀬市長らの祝辞に続き、関係者らによるテープカット



テープカットとくす玉開披で供用を祝う
＝名瀬市の現場で

長らの祝辞に続き、関係者らによるテープカットが完了し、くす玉開披が行われ、同港の供用開始を盛大に祝った。ほかに伊津部小学校のさざなみバンドによる演奏もあり式典に華を添えた。名瀬港マリンタウンプロジェクトの一環で整備してきた長浜地区は国と県が手掛けており、3万トンを国が、臨港道

建築CAD総合展示会

高性能ソフト体感

南日本CADシステム



熱心に説明を聴く参加者ら
＝鹿児島市の市民文化ホールで

南日本CADシステム(南)永進社長、(都城市)は22日、鹿児島市の市民文化ホールで建築CAD総合展示会「Home Art Show 2004」を開いた。

同社は南九州各地で建築CADソフトの展示会を開催しており、CADソフト「MADRIC・CG2000」や「MADRIC・S/R30」

「00」のほか、エクステリア専用「RIK CAD 21」、高機能・高画質の自由自在ワークスルーを搭載した「MADRIC CG PYTH A」などのソフトが多数展示、実演された。

当日は、それぞれのソフトごとにコーナーが設けられ、各担当者が来場者の質問に実演を交えながら説明を聴く参加者ら

から詳細に説明。展示会に参加した吉野町の造園業者は「現在使用しているソフトと比べ、使いやすくて高性能ですね」と感想を述べた。

永進社長は「業界最高の建築CADの利点や内容を理解してもらい、それぞれの分野で利用していただければ、すばらしい効果が期待できると思います」と語った。

なお同社では、きょう

路や緑地、レクリエーション用地などを県が整備する。総事業費は国が約53億円、県が約60億円。供用開始となった名瀬港長浜地区岸壁は平成3年

に港湾計画決定後に事業着手、5年度に工事着手、16年2月に工事完了した。

23日午前10時30分から鹿児島市の「オロシティー」にやま」で「CG&CADフェア2004春」まで。

キャノンビジネスプラザ 2004

IT環境機器を提案

キャノン販売鹿児島県営業所(一見淳一郎所長)は22日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで「キャノンビジネスプラザ2004」を開き、今後のオフィス環境に適した最新機器を提案、多くの来場者でにぎわった。

同フェアは昨秋にも開催、関係企業を中心に多方面から好評を得たことでも今回開催。会場には、ビジネスのIT化に伴った新世代デジタル複合機等、近年のオフィス環境



多くの来場者でにぎわったビジネスプラザ
＝鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで

奄美の川と語る会 きょうから 住用村等で

川づくり実行委
奄美多自然型川づくり実行委員会主催(後援・県技術士会、NPO法人九州流域連携協議会等)のドイツ近自然工法技術者団との「奄美の川と語る会」は、23、24日の2日間の日程で大島郡住用村と鹿児島市で開く。参加費は、日程I・IIとも参加する者は1万円(24日の夕食交流費含む。交流会不参加者は6000円)、IIのみの参加者は5000

0円(交流会不参加者は1000円)。
日程は次の通り(①日時②場所及びスケジュール)。
▽日程I(現地ワークショップ及び講演会) ①23日午後1時30分～24日午前11時②大島郡住用村マングローブパーク集合後、役所川・住用川視察及びミーティング・住用村中央公民館で講演会「奄美の川と語る会」
▽日程II(ミーティング及び交流会) ①24日午後5時～午後8時②治水の森(鹿児島市紫原6-5-1)で、「日本の多自然/ドイツの近自然」をテーマに講演会・夕食交流会(問い合わせ及び申し込みは、奄美多自然型川づくり実行委員会事務局(☎0997・69・2031 メールアドレス: t-nano@jain.jp)。

【訂正】 22日号5面、星ヶ峯みなみ台完成式典の記事中、施工業者の中で忠工業建設(株)とあるのは忠建設工業(株)、(株)コアス日本とあるのは(株)コアス日本の誤りです。

謝している。お客様それぞれの運用ニーズに適した製品を、ぜひ体験して今後のビジネスにお役立ていただきたい。これからも時代に合わせて、より高度な製品開発に努めていきたい」と話した。なお、同フェアは今年秋も開催する予定としている。

新工法で焼却炉清掃

ダイオキシンを分解

(徳留文男社長)は、このほど、長崎大学環境保全センターなどで構成する「ダイオキシン類無害化技術研究会」が開発、設立された「焼却灰等安定化技術協会」の県下総代理店として、新清掃工法による焼却炉の清掃、解体などを行っている。

ダイオキシン類対策特別措置法により、学校や事業所、一般家庭

が禁じられ、ダイオキシン類発生防止対策が完了していない全ての焼却施設の使用が禁止されている。また、使用できない焼却炉等も早急に解体撤去することが社会的要請となっているが、膨大な費用が掛かるため放置されているケースが多い。

同工法は、従来、常

に焼却炉等も早急に解体撤去することが社会的要請となっているが、膨大な費用が掛かるため放置されているケースが多い。

同工法は、従来、常

に焼却炉等も早急に解体撤去することが社会的要請となっているが、膨大な費用が掛かるため放置されているケースが多い。

同工法は、従来、常

に焼却炉等も早急に解体撤去することが社会的要請となっているが、膨大な費用が掛かるため放置されているケースが多い。

同工法は、従来、常

に焼却炉等も早急に解体撤去することが社会的要請となっているが、膨大な費用が掛かるため放置されているケースが多い。

同工法は、従来、常

に焼却炉等も早急に解体撤去することが社会的要請となっているが、膨大な費用が掛かるため放置されているケースが多い。

同工法は、従来、常

16年度県水防協議会

水防計画修正案を承認

16年度県水防協議会(会長・須賀龍一郎知事)は22日、鹿児島市の県市町村自治会館で開き、重要水防区域や交通途絶予想箇所等を変更した16年度県水防計画修正案を承認した。

賀知事に代わり加藤憲一土木部長が「災害を最小限に食い止めるためには、地域住民からの情報等を活用することが重要。水防体制の確立に向け、き

直轄河川、県管理河川をはじめ、土砂災害防止法等について、長井義樹大隅河川国道事務所長、市来敬典土木部河川課長らが事業概要の説明や現況報告を行った。

このあと、川内川・肝属川水系の重要水防区域の変更、土石流危険渓流の見直し、交通途絶予想箇所等を変更した16年度

【訂正】 22日号5面、星ヶ峯みなみ台完成式典の記事中、施工業者の中で忠工業建設(株)とあるのは忠建設工業(株)、(株)コアス日本とあるのは(株)コアス日本の誤りです。